

「日本・セルビア環境交流シンポジウム」への参加 ～セルビアにおけるコウノトリプロジェクト～

セルビア共和国パンチェボ市で開催される産学官民協働による環境改善推進事業(通称:コウノトリプロジェクト)「日本・セルビア環境交流シンポジウム」に市長が^{しょうへい}招聘され、基調講演等を行う。

1 シンポジウムの概要

(1) 主催

JICA バルカン事務所、JICA 草の根技術協力事業^(※1)、SATREPS(サトレップス)^(※2)

※1) JICA 草の根技術協力事業

国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA(独立行政法人国際協力機構)が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業。

※2) SATREPS

JICAとJST(国立研究開発法人科学技術振興機構)とが共同で実施している地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム。セルビア共和国ボール市では秋田大学が「持続可能な資源開発実現のための空間環境解析と高度金属回収の融合システム研究」を実施している。

(2) 内容

セルビア共和国での環境改善事業を推進するため、日本、セルビア共和国のプロジェクト関係者の連携協力体制の強化と環境保全分野研究の加速、産学官民協働による環境改善推進を目的に、活発な議論と幅広い情報交換を行うもの。

《背景》

パンチェボ市は首都ベオグラードに隣接し、化学工業地区を有していることから、ユーゴスラビア紛争の際、1999年に NATO(北大西洋条約機構)による空爆を受け、有害化学物質による土壌・地下水汚染が発生した。その後、UNEP(ユネップ・国連環境計画)等によって一定のレベルまで環境修復が行われたが、未だ化学工場地区の土壌・地下水汚染が残っている。さらに、古い廃棄物処分場からの汚染、コウノトリが飛来する自然公園の再生等が課題となっている。



パンチェボ市

【人口】市街地 76,000 人(行政区域 123,000 人)

【面積】市街地 161km²(行政区域 756km²)

(3) 日時

2020年2月21日(金) 午後1時30分～4時30分

※ 関連して前日の20日(木)には、パンチェボ市役所で行われる「第1回コウノトリ・ワーキンググループ会議」で市長がプレゼンテーションを行う。

(4) 場所

ベオグラード大学(ベオグラード市)

(5) 参加者(予定)

(公財)ひょうご環境創造協会、ベオグラード大学、日本大使館、JICA バルカン事務所、パンチェボ市長、セルビア環境保全省、セルビア鉱業エネルギー省、兵庫県立コウノトリの郷公園(兵庫県立大学)、ベオグラード大学生、市民、豊岡市 他

2 講演内容

コウノトリ野生復帰の取組みを中心に、「コウノトリも暮らせるまちづくり」について講演する。

《参考》

スケジュール

日程	内容	場所
2月19日(水)	羽田空港 ⇒ ベオグラード空港(セルビア共和国) ・ポニャビツァ自然公園視察	ベオグラード市
20日(木)	・パンチェボ市長表敬訪問 ・コウノトリ・ワーキンググループ会議	パンチェボ市役所
21日(金)	・日本セルビア環境交流シンポジウム	ベオグラード大学
22日(土) 23日(日)	ベオグラード空港 ⇒ ドバイ国際空港(アラブ首長国連邦) ⇒ 羽田空港	アラブ首長国連邦(経由)、東京

[問合せ] コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017